

(2)受賞

- Ig Nobel prize, T. Nakagaki, R. Kobayashi, A. Tero, A. Ishiguro, A. Toth and H. Yamada, 2008年10月
- 2008 DSPS Educators Conference Texas Instruments Japan Best Demonstration Award, Naoki Kyoya, Kenta Chishima, and Kaoru Arakawa, Implementation of Face Aesthetic Filter for Video with DSP in the 10th DSPS Educators Conference, 2008年9月
- 2008年度台湾数学會外国研究者賞, 三村昌泰, 2008年

(3)講演

- 岡部靖憲, ”複雑系現象の時系列のモデル解析”, 階層構造の科学+現象数理学研究会, 2008年11月
- 岡部靖憲, ”地震・株価・脳波の異常を数学で捕捉可能か”, 明治大学ホームカミングデー記念講演会, 生明祭理工学部&農学部共催講演会, 2008年11月
- Yasunori Okabe, On a time series analysis for complex phenomena based upon the theory of KM2O-Langevin equations, Fifth International Conference of Applied Mathematics and Computing, Plovdiv, Bulgaria, 2008年8月
- 岡部靖憲, ”経済時系列の実験数学的研究と般若心経---複雑系現象の時系列の異常の前兆の補足とダイナミクスの導出”, 明治大学リバーティアカデミービジネスプログラム, 講義, 2008年4月-6月
- 向殿政男, ”『リスク』の理解が未来を開く ～リスクの概念とリスクアセスメントの基本～”, リスクアセスメント推進大会 2008, 豊田労働基準監督署, 豊田労働基準協会, 豊田市民文化会館, 2009年3月
- 向殿政男, ”安全の理念について”, 学術会議 総合工学委員 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会, 2009年3月
- 向殿政男, ”安全と安心の架け橋”, 日本工学アカデミー 第4回安全工学フォーラム, 安全知の認知・創域作業部会, 弘済会館, 2009年3月
- 向殿政男, ”安全を創る真実はいずこに ～個人の責任と企業の役割のはざままで～”, 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 2009年度春季討論会, 学術総合センター, 2009年3月
- 向殿政男, ”化学・生物総合管理の再教育講座”, シンポジウム, 明治大学リバーティアカデミー, お茶の水女子大学, 学術総合センター, 2009年3月
- 向殿政男, ”消費者用製品のリスクアセスメントに関する今後の展望”, 『事故の事典』発行セミナー:製品事故をどう防ぐか, 日経ものづくり, 東京コンファレンスセンター, 2009年3月
- 向殿政男, ”経営に求められるものづくり安全 ～安全文化を育む～”, 安全衛生トップセミナー, 中央労働災害防止協会, 大津プリンスホテル, 2009年1月
- 向殿政男, ”製品安全～企業は今,何をなすべきか～”, ものづくり安全における我が国の現状と将来 安全技術応用研究会, 2008年12月
- 向殿政男, 三菱総研倶楽部月例セミナー, 三菱総合研究所, 2008年12月

- ・ 向殿政男, ”製品安全対策優良企業表彰受賞企業の講評”, 第 3 回製品安全総点検セミナー, 経済産業省, JA ホール, 2008 年 11 月
- ・ 向殿政男, ”安全規制における共通の考え方について”, NITE リスクマネジメント勉強会, 製品評価技術基盤機構, 2008 年 11 月
- ・ 向殿政男, ”機械安全と包括的安全基準 機械安全とリスクアセスメント”, 明治大学リバティアカデミー, 明治大学リバティタワー, 2008 年 11 月
- ・ 向殿政男, ”長期使用製品の安全性確保”, ヤマハ発動機, 磐田, コミュニケーションプラザ, 2008 年 11 月
- ・ 向殿政男, ”機械安全に関する国内外の動向”, JIMTOF2008 における主催者セミナー, 日本工作機械工業会, 東京ビッグサイト, 2008 年 11 月
- ・ 向殿政男, ”総合司会 ものづくり安全最前線 ～グローバルスタンダードの潮流の中で～”, 日経産業新聞フォーラム, 日経産業新聞, 日経ホール, テイジンホール, 2008 年 10 月
- ・ 向殿政男, ”安全学のすすめ”, 第 7 期産業安全保険エキスパート養成コース, 労働科学研究所, 新宿パークタワー, 2009 年 10 月
- ・ 向殿政男, ”安全学概論 製品の安全学入門”, 明治大学リバティアカデミー, 明治大学リバティタワー, 2008 年 10 月
- ・ 向殿政男, ”サービスロボットのリスクアセスメント”, イノベーション・ジャパン 2008, 東京国際フォーラム, 科学技術振興機構, 2008 年 9 月
- ・ 向殿政男, ”『安全学』の構築に向けて”, 鉄道総研セミナー, 鉄道技術総合研究所, 2008 年 9 月
- ・ 向殿政男, ”製品安全確保のための品質リスクアセスメント”, 北米・中南米・欧州 MD 経営責任者品質マネジメント学習会, 松下電器産業株式会社, 2008 年 9 月
- ・ 向殿政男, ”企業競争力を高めるホンモノづくり”, ～製品安全の観点から見たホンモノづくり～ 『つくる』第 1 回シンポジウム, 日経産業新聞, 日経ホール, 2008 年 9 月
- ・ 向殿政男, ”設計から寿命までの安全”, 品質づくりこみ最前線 2008, 日経ものづくり主催セミナー, 東京コンファレンスセンター品川, 2008 年 7 月
- ・ 向殿政男, ”次世代ロボットと安全問題”, 講演会, (社)電気倶楽部, 2008 年 7 月
- ・ 向殿政男, ”事故と安全, 製品安全とリスクマネージメント”, 消費者実務研究会, 厚生年金会館, 2008 年 7 月
- ・ 向殿政男, ”今, 企業もとめられるものづくり安全”, 中産連会員懇談会, (社)中部産業連盟, 中日パレス, 2008 年 7 月
- ・ 向殿政男, ”イノベーション都市川崎～ロボット産業展開の可能性～”, 20 周年記念式典, (財)川崎市産業振興財団, 川崎市産業振興会館ホール, 2008 年 7 月
- ・ 向殿政男, ”安全／安心・リスクと企業経営全体討議”, 第 24 回 FMES (経営工学関連学会協議会) シンポジウム, 日本学術会議総合工学委員会, 日本学術会議 講堂, 2008 年 7 月
- ・ 向殿政男, ”『安全学』という学問は成立しうるか?”, 第 23 回 KIT 虎ノ門サロン, 金沢工業大学, 2008 年 6 月
- ・ 向殿政男, ”長期使用製品の安全性確保”, 製品安全特別セミナー, 松下電器産業, 2008 年 6 月

- ・ 向殿政男, ”安全設計の考え方”, 第12回安全・環境問題規制検討会, 経済産業研究所, 2008年6月
- ・ 向殿政男, ”安全学のすすめ”, 第6期産業安全保険エキスパート養成コース, 労働科学研究所, 新宿パークタワー, 2009年6月
- ・ 向殿政男, ”長期使用製品の安全性確保について”, UL 製品安全セミナー2008, UL-Japan, 明治記念館, 2008年5月
- ・ 向殿政男, ”労働安全の新しい流れ”, 経営戦略スタッフ会議, 三菱マテリアル(株), 2008年5月
- ・ 向殿政男, ”ものづくり安全～安全な職場で安全な製品を安全に作る～”, 2008年度ソニーセーフティ実務担当者勉強会, ソニーファシリティマネジメント(株), 刈谷市産業振興センター, 2008年5月
- ・ 向殿政男, ”安全学入門 ～安全学の構造～”, 安全学概論1, 明治大学リバティアカデミー, 明治大学秋葉原サテライトキャンパス, 2008年4月
- ・ 向殿政男, ”安全規格の国内外の動向について”, 富士電機アドバンスドテクノロジー(株), 2008年4月
- ・ 刈屋武昭, ”サブプライム問題を考える”, 京都大学経済金融シンポジウム『金融危機と今後の展望』, 2009年3月
- ・ 刈屋武昭, ”サブプライム問題と金融システムのあり方”, 日本金融・証券計量・工学学会, 2009年1月
- ・ 刈屋武昭, ”サブプライム問題と金融危機”, 日本証券計量工学学会研究発表会, 資料予稿集収録, 2009年1月
- ・ 刈屋武昭, ”グローバル金融市場の展望”, (独)経済産業研究所ワークショップ『サブプライム問題と金融危機』, 2008年11月
- ・ 刈屋武昭, ”価値創造 ERM と組織精神性資産”, 日本価値創造 ERM 学会研究会, 2008年10月
- ・ 下麥光二郎, 森啓之, ”系統再構成とキャパシタ制御を考慮した三相不平衡配電系統損失最小化問題の解法”, 平成21年電気学会全国大会予稿集, 論文番号6-025, 2009年3月
- ・ 金岡大介, 森啓之, ”インテリジェントシステムを用いた天候リスクスワップの等価性の検証とプライシング”, 平成21年電気学会全国大会予稿集, 論文番号6-117, 2009年3月
- ・ 関康太郎, 森啓之, ”三相不平衡配電系統における前処理付き反復法を用いた連続型潮流計算”, 平成21年電気学会全国大会予稿集, 論文番号6-114, 2009年3月
- ・ 梅澤康士, 森啓之, ”アンサンブル学習を用いた電力価格予測”, 平成21年電気学会全国大会予稿集, 論文番号6-103, 2009年3月
- ・ 室井貴行, 森啓之, ”確率近傍選択タブサーチを用いた配電系統復旧制御”, 平成21年電気学会全国大会, 論文番号6-026, 2009年3月
- ・ 蔣文駿, 森啓之, 横山隆一, ”因果関係を考慮した短期排出権価格のリスク解析”, 平成21年電気学会全国大会, 受付番号:6-910, 2009年3月
- ・ 蔣文駿, 森啓之, ”前処理付きカーネルマシンを用いた短期電力負荷予測の信頼区間推定”, 平成21年電気学会全国大会, 受付番号:6-920, 2009年3月
- ・ 吉田尚史, 森啓之, ”確率的な配電系統拡張計画に対する Multi-objective Memetic Algorithm の適用”, 平成21年電気学会全国大会予稿集, 6-013, 2009年3月

- ・ 石橋直人, 森啓之, ”電圧安定度解析のための負荷マージン推定”, 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 6-091, 2009 年 3 月
- ・ 高橋輝, 森啓之, ”最適回帰二進木と最適化した ANN を用いた電力価格予測”, 平成 21 年電気学会全国大会予稿集, 6-101, 2009 年 3 月
- ・ 大川健太, 森啓之, ”発電機の起動停止計画のための TS と EPSO を用いた新しい開発手法”, 平成 17 年電気学会全国大会予稿集, 6-046, 2009 年 3 月
- ・ 下麥光二郎, 森啓之, ”GRASP-GA による信頼度を考慮した送電系統拡充計画”, 平成 20 年電気学会電力・エネルギー部門大会, 論文 I, 論文番号 34, 2008 年 9 月
- ・ 金岡大介, 森啓之, ”Relevance Vector Machine を用いた短期電力負荷予測のための気温予測”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 1, 2008 年 9 月
- ・ 蔣文駿, 森啓之, ”排出権取引のためのインテリジェントシステムを用いたリスク評価法”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 5, 2008 年 9 月
- ・ 室井貴行, 森啓之, ”確率的近傍選択を用いた TS による配電系統復旧制御アルゴリズムの開発”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 27, 2008 年 9 月
- ・ 蔣文駿, 森啓之, ”グラフィカルモデリングを用いたマーケットゾーンの因果関係の解析”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 103, 2008 年 9 月
- ・ 室井貴行, 森啓之, ”ネットワークの複雑性理論に基づく電力システムのメータ配置”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 168, 2008 年 9 月
- ・ 石橋直人, 森啓之, ”電力価格時系列データにおける類似性の抽出”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 111, 2008 年 9 月
- ・ 大川健太, 森啓之, ”ハイブリッドメタヒューリスティクスを用いた発電機の起動停止問題の解法”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 120, 2008 年 9 月
- ・ 吉田尚史, 森啓之, ”不確定性を考慮した配電系統拡張計画”, 平成 20 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 233, 2008 年 9 月
- ・ 蔣文駿, 森啓之, ”グラフィカルモデリングを用いた短期排出権価格のリスク評価法”, 電気学会電力技術研究会資料, 資料番号 PE-08-98/PSE-08-107, 2008 年 8 月
- ・ 室井貴行, 森啓之, ”トポロジー可観測性改善のための複雑ネットワークによるメータ配置法”, 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, PE-08-72/PSE-08-81, 2008 年 8 月
- ・ 吉田尚史, 森啓之, ”メタヒューリスティクスを用いた確率的な配電系統拡張計画”, 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, PE-08-89/PSE-08-98, 2008 年 8 月
- ・ 大川健太, 森啓之, ”発電機の起動停止問題への二層メタヒューリスティクスの適用”, 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 資料番号 PE-08-87・PSE-08-96, 2008 年 8 月
- ・ 石橋直人, 森啓之, ”類似性を考慮した電力価格時系列データのクラスタリング”, 平成 20 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, PE-08-101/PSE-08-110, 2008 年 8 月
- ・ Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Amoeboid Locomotion”, International Conference for Nonlinear Science, Sapporo Winter School, Hokkaido University, 2009 年 2 月

- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Amoeboid Locomotion”, Mathematical Understanding of Complex Systems arising in Biology and Medicine, Meiji University, 2008年10月
- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Amoeboid Locomotion”, Dynamics Days Asia Pacific 5, Nara, 2008年9月
- R. Kobayashi, A. Tero and T. Nakagaki, “Patterns and Computations in Biological Systems—True Slime Mold—”, Czech-Japanese Seminar in Applied Mathematics 2008, Takachiho, Miyazaki, 2008年9月
- Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Locomoting Amoeba”, The Second China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, Okayama, 2008年8月
- Kaoru Arakawa, “Introduction of Interactive Evolutionary Computing to Nonlinear Filters for Images Considering Human Subjective Assessment”, 2008 International Workshop on Smart Info-Media Systems in Bangkok (SISB) 2008, 2009年3月
- 加藤雅人, 荒川薫, “遺伝的アルゴリズムを用いた雑音残響下でのブラインド信号分離”, 2009年電子情報通信学会総合大会, A-4-23, 2009年3月
- 中井義, 荒川薫, “ブロックマッチングを用いた経年変化顔画像の人物認識法”, 2009年電子情報通信学会総合大会, A-20-3, 2009年3月
- 板谷晋平, 井口幸洋, 荒川薫, “ ϵ -フィルタバンクの FPGA 実現と顔画像美肌化への応用”, 2009年電子情報通信学会総合大会, A-20-2, 2009年3月
- 鈴木雅之, 玉手慎也, 荒川薫, “脳波解析による文章黙読時の感性評価”, 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-90, pp.101-105, 2009年3月
- 中井義, 荒川薫, “部分的な一致度を用いた経年変化顔画像による人物認識法”, 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-87, pp.85-90, 2009年3月
- 加藤雅人, 荒川薫, “雑音残響環境における混合音声分離のためのブラインド信号分離の一手法 ～ 遺伝的アルゴリズムの導入 ～”, 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-81, pp.55-60, 2009年3月
- 京谷尚樹, 千嶋健太, 荒川薫, “動画画像美肌化処理システムのDSPによる実装”, 第10回DSP教育者会議, pp.63-64, 2008年9月
- 京谷尚樹, 荒川薫, “ベイズ推定と定常・非定常分離フィルタを用いた音声の突発性雑音除去”, 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-6, 2008年9月
- 千嶋健太, 荒川薫, “ハフ変換を用いた映像フィルムスクラッチ修復の一手法”, 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-4, 2008年9月
- 中井義, 荒川薫, “経年変化を含む顔画像による個人認証の一手法”, 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-3, 2008年9月
- 板谷晋平, 馬志端, 井口幸洋, 荒川薫, “ ϵ -フィルタの FPGA 実現と顔画像美肌化への応用”, 2008年電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-1, 2008年9月
- Kaoru Arakawa and Kohei Nomoto, “Nonlinear Denoising Filter for Images with

Interactive Evolutionary Computing Considering the Subjective Assessment”, International Workshop on Multi-Media Signal Processing, pp.10-14, 2008-06.

- 京谷尚樹, 荒川薫, ”定常・非定常分離フィルタを用いた音声からの突発性雑音除去の一方式”, 電子情報通信学会研究技術報告, SIS2008-14, 2008年6月
- Hiraku Nishimori, “Mathematical Model for the Foraging Tactics of Ants Colony under Unsteady Food Supply”, in Sapporo Winter School, Sapporo, 2009年2月
- Hiraku Nishimori, “Optimal Foraging Path of Ants under Dynamical Feeding”, in International workshop on biological group behaviors and nonlinear dynamics Hokkaido University, Sapporo, 2008年9月
- Tatsuo Shibata, “Self-organisation in chemotactic signaling for spontaneous cell migration of Eucaryotic cells”, The 3rd International Workshop on Systems Radiation Biology, Rovaniemi, Finland, 2009年1月
- 柴田達夫, ”細胞スケールの自己組織化現象を1細胞イメージングによる定量データと数理モデルにより解明する”, 定量生物学の会 第1回キャラバン, 国立遺伝学研究所, 2009年3月
- 柴田達夫, ”ゆらぐ世界の定量生物学”, 定量生物学の会 第1回キャラバン, 国立遺伝学研究所, 2009年3月
- 柴田達夫, ”Self-organization in chemotactic signaling of eukaryotic cells”, 明治大学グローバル COE プログラム『現象数学の形成と発展』キックオフフォーラム, 明治大学, 2009年3月
- 柴田達夫, ”1細胞の自己組織化現象を蛍光イメージデータの時系列解析と数理モデルによって解明する” 京都駅前セミナー, ～非線形現象の数理を考える～, キャンパスプラザ京都, 2009年1月
- 西川正俊, 柴田達夫, ”バクテリアの適応反応で生じるノイズと走化性”, 2009年生体運動研究合同班会議, 東京大学, 2009年1月
- 柴田達夫, ”生物学にとっての理論, 理論にとっての生命現象”, 定量生物学の会, 年会, ワークショップ“A matter of wetting in the quantitative biology”, 東京大学, 2009年1月
- 柴田達夫, ”『シグナル伝達と符号・暗号』離散力学系の分子細胞生物学への応用数理”, 京都大学数理解析研究所, 2009年1月
- 柴田達夫, ”分子スケールから細胞スケールまで, 数理諸学と生物学の統合科学としての生命システム科学への挑戦”, INSAM シンポジウム, 数理シミュレーション科学プロジェクト研究センター, 広島大学, 2008年12月
- 椿直輝, 柴田達夫, 小林亮, ”粒子法を用いた細胞運動のモデル”, INSAM シンポジウム, 数理シミュレーション科学プロジェクト研究センター, 広島大学, 2008年12月
- Tatsuo Shibata, “Self-organization in chemotactic signaling for spontaneous cell migration of Eukaryotic cells”, Integrating Physics, Chemistry, Mathematics and Biology to understand living systems (IPCMB 2008), Bose Institute, Kolkata, India, 2008年12月

- 西川正俊, 柴田達夫, "Molecular noise can improve bacterial chemotaxis", 数理生物学会年会, 同志社大学, 2008年9月
- 柴田達夫, 新井由之, 松岡里実, 上田昌宏, "細胞性粘菌の走化性シグナル伝達系における自己組織化現象の蛍光イメージ解析と理論的解析", 数理生物学会年会, 同志社大学, 2008年9月
- 柴田達夫, "細胞スケールの自己組織化現象 イメージ・データ解析と数理モデル", 細胞・発生生物学研究への数理科学的アプローチ, 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター, 2008年9月
- 柴田達夫, "走化性情報処理のゆらぎと協同性", 第60回日本細胞生物学会大会, パシフィコ横浜, 2008年6月
- Shibata Tatsuo, "Self-organization in chemotactic signal transduction of eukaryotic cell", International Workshop on Bio-Soft Matter, 東京大学小柴ホール, 2008年6月
- Toshikazu Sunada, Imperial College, London, 2009年3月
- 砂田利一, パリ第6大学, 2009年2月
- 砂田利一, Bielefeld 大学, 2008年12月
- 砂田利一, Humboldt 大学, 3回連続講演, 2008年11月
- 砂田利一, Texas A&M 大学, 3回連続講演, 2008年11月
- 砂田利一, Max Planck 研究所(Bonn), 幾何学セミナー, 2008年10月
- 砂田利一, Max Planck 研究所(Bonn), Oberseminar, 2008年7月
- 砂田利一, Muenster 大学コロキウム, 2008年7月
- 砂田利一, Bonn 大学大域解析学セミナー, 2008年4月
- Masayasu Mimura, "Free Boundary Problems related to Contact Inhibition", Winter School on Recent Challenges in Medical Mathematics and Cancerology: Modeling and Mathematical Analysis, 2009年2月
- 三村昌泰, "自然の中に数学を見つけよう", SSH 講義, 広島大学附属高校, 2009年1月
- 三村昌泰, "シマウマにヒョウの模様が現れるか", 現代数学入門講座, 湘南国際村センター, 2009年1月
- 三村昌泰, "生き物の神秘—数学からの解明—", SSH 講義, 沖縄県立開邦高校, 2009年1月
- 三村昌泰, "自然の中にある数学を探る", 湘南数学セミナー, 湘南国際村センター, 2009年1月
- Masayasu Mimura, "Reaction-diffusion equations and Applications", Colloquium, Institute of Mathematics, Academia Sinica, Taiwan, 2008年12月
- Masayasu Mimura, "Segregation Problems In Competition-Diffusion Systems", 2008年数学學術研討會・中華民國數學會年會, 清華大学, 2008年12月
- Masayasu Mimura, "Transient self-organized patterns in biological and chemical systems", International Workshop on Mathematical Biology, National Taiwan Normal University, Taiwan, 2008年12月
- 三村昌泰, "生き物の神秘—数学からの解明—", 特別講演会, 香川県立高松高校, 2008年1月

- Masayasu Mimura, “Traveling Waves in Smoldering Combustion under Micro-Gravity”, PDE approximations in Fast reaction-slow diffusion scenario, Lorentz Center, University of Leiden, The Netherlands, 2008 年 11 月
- Masayasu Mimura, “Competition-mediated coexistence for three species”, 2nd China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, Okayama, Japan, 2008 年 8 月
- Masayasu Mimura, “Pattern Formation arising in Transient Far From Equilibrium States”, Oscillations & Dynamic Instabilities in Chemical Systems, Gordon Research Conference, Colby College Waterville, ME, U.S.A., 2008 年 7 月
- Masayasu Mimura, “Transient Asymptotics in Far from equilibrium Reaction-Diffusion Systems”, European Conference on Mathematical and Theoretical Biology, Edinburgh, Scotland, 2008 年 6 月
- Kanya Kusano, Daikou Shiota, Satoshi Inoue, Tooru Sugiyama, Shinichiro Shima, Yoji Kawamura, Ryuho Kataoka, Takahiro Miyoshi, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Tatsuki Ogino, Kazunari Shibata, “Multi-scale Modeling of Solar Terrestrial Environment”, Space Climate symposium 3, Saariselka, Finnish Lapland, 2009 年 3 月
- Kanya Kusano, Daikou Shiota, Satoshi Inoue, Ryuho Kataoka, Takahiro Miyoshi, Tetsuya Magara, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Tetsuya Yamamoto, Tatsuki Ogino, Kazunari Shibata, “Multi-scale Modeling of Solar Terrestrial Environment System”, Fifty Years after IGY- Modern Information Technologies and Earth and Solar Sciences, AIST (つくば), 2008 年 11 月
- Kanya Kusano, “Data-Driven Simulation of Solar Eruption”, Workshop on Space Weather Modeling, KASI (大田市, 韓国), 2008 年 10 月
- 草野完也, 塩田大幸, 井上諭, 片岡龍峰, 三好隆博, 真柄哲也, 浅野栄治, 松本琢磨, 山本哲也, 荻野竜樹, 柴田一成, “太陽地球システムのデータ駆動連結階層モデリング: 太陽爆発の予知可能性について”, 地球電磁気・地球惑星圏学会第 124 回総会・講演会, 2008 年 10 月
- Kanya Kusano, “A New Modeling Study to Understand the Impact of Cosmic Ray on Cloud Dynamics”, International Symposium of “From Genome to Snowball Earth, Metazoan Evolution and Habitable Planets: Multidisciplinary Relations” 科学未来館, 2008 年 10 月
- 草野完也, スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH) 宇宙地球科学研修, 広島大学附属高等学校講師, 2008 年 9 月
- Kusano Kanya, Sugiyama Tooru, Inoue Satoshi, Shiota Daiko, Asano Eiji, Matsumoto Takuma, Kataoka Ryuho, Shibata Kazunari, “Multi-scale Interlocked Simulation of Solar Eruption”, 37th COSPAR Scientific Assembly, Montreal, Canada, 2008 年 7 月
- Kanya Kusano, Satoshi Inoue, Daikou Shiota, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Ryuho Kataoka, Kazunari Shibata, “Data-driven Simulation of Solar Flare and CME Initiation” AOGS2008, 釜山, 韓国, 2008 年 6 月

- 草野完也, “現象数理学と物理学 ～階層を超える科学を目指して～”, 第1回 MIMS フォーラム『現象数理学の創造』, 明治大学紫紺館, 2008年6月
- 草野完也, “Cosmoclimatology 宇宙気候学～宇宙的視点から地球環境を探る～”, 東京自由大学 地球温暖化防止シンポジウム『地球温暖化—宇宙からの視点』, 東京大学小柴ホール, 2008年6月
- 草野完也, 塩田大幸, 井上諭, 片岡龍峰, 浅野英治, 松本琢磨, 荻野瀧樹, 柴田一成, “宇宙天気予報の基礎研究としての太陽地球システムの連結階層モデリング”, 2008年日本地球惑星科学連合大会, 宇宙天気モデリング共同チーム, 幕張メッセ国際会議場, 2008年5月
- Kanya Kusano, Hiroki Hasegawa, Shigenobu Hirose, Yohji Kawamura, Akio Kawano, Shinichiro Shima, Tooru Sugiyama, Daiko Shiota, Satoshi Inoue, Ryuho Kataoka, Eiji Asano, Takuma Matsumoto, Takahiro Miyoshi, Tatsuki Ogino, and Kazunari Shibata, “Study of Multi-scale and Multi-physics Dynamics with Macro-Micro Interlocked Simulations”, The 6th EU-Japan Joint Symposium on Plasma Processing (JSPP2008), Okinawa Convention Center, Okinawa, 2008年4月
- 上山大信, “Modeling and Simulation-Pattern formation of Liesegang type precipitation”, 明治大学グローバル COE プログラム『現象数理学の形成と発展』キックオフフォーラム ～現象数理学の新しい展開を求めて～, 明治大学紫紺館, 2009年3月
- 上山大信, “あるゲル内沈殿系におけるパターン遷移 —シミュレーション解析と実験からのアプローチ” 小研究集会 in 富山『反応拡散系における諸問題 2008』, 富山大学理学部数学科, 2009年1月
- Daishin Ueyama, “A simulation study of pattern transition in a precipitation system”, PDE approximations in Fast reaction-Slow diffusion scenarios, Lorentz Center, Netherlands, 2008年11月
- Daishin Ueyama, “A simulation study of pattern transition in a precipitation system”, The Japan-France International Laboratory (LIA-197) ReaDiLab “Mathematical Understanding of Complex Systems arising in Biology and Medicine”, 明治大学紫紺館, 2008年10月
- 上山大信, “分岐解析ソフトウェア AUTO の教育研究における利用例の紹介” 数学ソフトウェアとフリードキュメント 07, 東京工業大学大岡山キャンパス, 2008年9月
- Kota Ikeda, “Planar Traveling Wave in a Combustion Model”, MAS seminar, Meiji University, 2009年3月
- Kota Ikeda, “Existence and stability of a Planar Traveling Wave in a Combustion Model”, NCTS seminar, Tsing-Hua University, Taiwan, 2009年2月
- Kota Ikeda, ポスター発表, “Instability of multi-peak solutions in the shadow system of the Gierer-Meinhardt model”, The 10th Northeastern Symposium on Mathematical Analysis, 東北大学, 2009年2月
- Kota Ikeda, “Instability of multi-spots in the shadow system for the Gierer-Meinhardt

model”, The 26th Kyushu Symposium on Partial Differential Equations, Kyushu University, 2009 年 1 月

- 中橋 渉, “Evolution of male mating preference (オスの性的選好性の進化)”, 第5回生物数学の理論とその応用, ミニシンポジウム『進化ゲーム理論の数理』, 京都大学, 2009 年 1 月